

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

名 称	第16回 第4分科会議事録	場 所	新宿区役所第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成18年2月10日(金) 午後6時30分～午後8時30分	記録者	学生補助員 永井祐介、三好加奈子
		区担当	企画政策課 熊澤
出席者：32名 (区民委員：27名 学識委員：1名 区職員：4名 傍聴：0名)			
<p>■配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第16回第4分科会会議進行次 ・第14回第4分科会区民会議議事録 ・新宿区区民意識調査 ・中間発表会発表用パワーポイント資料 <p>■会議内容</p> <p>[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員</p> <p>1、開会</p> <p>○(熊澤)：皆さん、こんばんは。ただいまより第16回第4分科会を始めたいと思います。本日、皆さんにお配りしてあります資料ですが、進行次第の裏には、前回の班長会議の会議内容が記載されています。既に情報提供という形で、交流の場に置いてあったものです。ですから事前にお取りいただいた方には、だぶってお配りしているという形になってしまいますけれども、ご理解いただきたいと思います。次に、本日の予定ですが、これから班長会議の報告を行ないまして、それから中間発表会に向けての第4分科会の整理を行なった後、連絡事項で次回以降の日程について確認をして、終了というように進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。なお、進行については、前回と同じようにリーダーの小宮さんにお任せしたいと思いますので、宜しく願いいたします。それでは、小宮さん、よろしく願いいたします。</p> <p>●(小宮)：皆さん、こんばんは。まだ少し寒いですが、私は今日、梅を見てきました。これからも寒い日もあるでしょうが、どんどん暖かくなってきて、よい気候になるのではないかと思います。さて、今、事務局からご説明がありましたけれども、最初に1月31日に開催されました、班長会議の報告ということで、上林さん、よろしいでしょうか。</p> <p>●(上林)：はい。</p> <p>●(小宮)：では、上林さんの方からご報告をお願いします。</p> <p>2、本日の議事録</p> <p>(1) 班長会議報告(1/31)</p> <p>●(上林)：1月31日の班長会議の報告をいたします。この用紙の裏側です。中間発表会の出席確認ですが、ここにいらっしゃっている方は、すべて参加するというので、数を報告してあります。それから、手話や車椅子が必要な方は、こちらにはいらっしゃらないということをご報告い</p>			

たしました。班長会の協議事項の取り扱いについては、1月31日に、芳賀さんから早めに情報を提供して欲しいということを受けまして、班長会で協議しました。それで、メールのある方はメールで、その他の人は交流の場に置いてありますので、各自取りに来ることを考えました。このことについて、ご意見のある方はいらっしゃいますか。

- （中上）：中上ですが、班長会議については、事務局と班長さんが出ておられるけれども、それ以外はまったく出ていないのだから、そこでこういうことが決まりましたよ、ということを変えたいと思うけれども、送っていただきたい。メールはいいけれども、後は取りに来る、というのは（少々問題があるのではないか）。メールの人はメールで、後の人は送ってもらうということをお願いしたい。
- （上林）：その件については、班長会議ではお示した二通りということに落ち着いたのですが。
- （小宮）：班長会議の協議で、班長会議に出てない方々に、早急に結果をお知らせするということがありますが、その中にはメールのある人はメール、それからファックスがある方はファックス、ファックスがない方は郵送で、郵送が駄目な場合は電話で対応する、ということが考えられます。
- （中上）：郵送ならば届きますよ。
- （小宮）：郵送や電話という方法もあって、一度実行してみたのですが、内容にもよりますが、資料をファックスとか郵送とかで送ろうとすると、かなり手間がかかってしまいます。もちろん班長会議の話ですから、これで決まったということではありませんが、皆さんにご理解いただければ、メールが使える方はメールで、使えない方は、交流の場に取りに来ていただきたいと思えます。ファックスや郵送という手段も班長会議で協議しましたが、手間など時間がかかってしまうので、班長会議ではメールと取りに来ていただく方法に絞りました。
- （中上）：そうすると、来る機会がないのです。班長会議の後にわざわざ皆さんが紙をとりに行くのは、それはどうみても非合理です。ですので、今申し上げた3つの方法、つまりメールの方はメール、ファックスのある方はファックス、そうでない人は仕方ないので郵送ではどうですか。
- （嘉藤）：あの、すいません。今回取りに来て下さいということについては、中上さんは大変だったと思われそうですが、どれくらいの方が取りにいらしたのでしょうか。それについて分かりますか。
- （中上）：来た人、手を挙げていただけますか。
- （嘉藤）：取りに来た方で、ご感想をお聞かせいただければと思います。私は郵送して欲しいという意見が委員さんの中で、一人でもいらっしゃれば、郵送してあげるべきだと思います。
- （永井）：郵送を希望される方は、どれくらいいらっしゃるのでしょうか。
- （中上）：私はファックスがありますから、ファックスでもらいます。
- （永井）：でしたら、ファックスも手間がかかってしまうということであれば、区民会議として、皆で作っているものとしておかしいので、例えば班の中でメールを受け取れる人が他の方に融通するなど、お互い情報を共有してみてもどうですか。せつかく班をつくって、皆さんで協議しているわけですので、そういう方向で共有して、班長さんだけに負担がかからないようにできないでしょうか。
- （中上）：だからファックスならいいでしょう。
- （永井）：これは区民会議なので、それぞれ各人が協力し合ってやっていくのがいいと思

います。

- （中上）：ちょっと待って下さい、区民会議というのは、協働事業。協同組合の「協」に、働は働くの「働」。私は区役所と区民が一体となって、やることだと思います。
- （永井）：ですから、われわれも協力できるところは、協力したほうが良いのではないですか。
- （中上）：それはそうですよ。良いのだけれども、一番良いのがメール、その次はファックス、その次は郵送。ファックスのない人、メールもない人は郵送でどうかと言っているのです。
- （永井）：だから班の中で皆さんが協力し合えば良いのではないのでしょうか。
- （嘉藤）：あの、よろしいのでしょうか。永井さんはパソコンに精通してらっしゃるから、たいしたことではないと思うかもしれませんが、世の中にはパソコンも知らない、ファックスも無い、そういった環境の方もいらっしゃるのです。そういう方に、班長さんが個別にあたっいらっしゃいます。そして、どうしてもお忙しい中、こういう委員会に出て来られるのですよね。そういう方に連絡するという事は、班長さんにもすごくストレスだと思います。だから、やっぱり委員になったということは何か気持ちがあって、こういう所にいらしているのだと思うのです。だからそういう方には誠意をもって、班長会議で決まったことは、希望するのでしたら通知してあげるべきだと思います。郵送は、80円の切手を貼って宛名を書けば届きます。何百円も何千円もかかるわけではないのです。
- （永井）：確かにそうですが、それは事務局がやれば良いということならば、班の中の皆さんが協力し合ってはいけないのですか。
- （嘉藤）：協力できることはしてもいいと思います。ですが、それができない班があったりしますと。
- （永井）：皆さん、せっかく同じ班になったメンバーなので、その位のことは工夫して協力し合えば良いのではないのでしょうか。情報共有することで触れ合いも生まれて、事務局から一方的に送られるよりも、僕は建設的だと思います。
- （嘉藤）：そうですね。だからそういうことができる班はそれでできるということで、していただければいいですけれども、そうではないところは事務局のお手伝いが必要だと思います。
- （永井）：それでは、個別にやっていくということしかありませんね。でも、できればせっかく一緒に班になったメンバー同士なので、何かいろいろ工夫して協力しながら、進める方が素敵だと思います。
- （平井）：ファックスだと（画像が）潰れて分かりづらいところもありますので、文章だけならファックスでいいと思います。
- （神野）：これについては個別に対策を立てるべきで、永井さんが言ったように班の中でやれることは班でやるということで、それを優先にやっていったらいかがでしょうか。
- （宮城）：今の郵送の話ですけれども、宛名書くのが大変なのですよね。ですから、郵送を希望される方は、ご自分で封筒を用意していただいて、次回郵送して欲しい場合は書いておくというのも一つの方法ではないでしょうか。
- （上林）：切手も貼ってもらって。
- （宮城）：重さで代金が違うのですよね。
- （上林）：どうでしょう。そういう意見ありましたが、よろしいですか。そうしませんか。

- （宮城）：区の方にも了解してもらって。郵送のお金がでるのでしたら、郵送を希望する方は、宛名を書いてお願いしますとお渡しすればいいのではないのでしょうか。取りに来られる人は来てもらえばいいのですから。
- （上林）：そのようなことで、事務局の方もよろしいのでしょうか。そういうことで、今回は封筒の方が間に合わないの、そうするようにします。
- （熊澤）：今お話いただいているのは、班長会議の情報提供の話ですね。そのように認識していますが、分科会欠席者に対する対応ではないですよ。分科会に欠席された方で、事前に欠席の連絡のいただいた方には、当日の資料を送るということを以前決定しました。そのことではなく、班長会議の資料で事前配付する必要があるもののことですね。
- （中上）：今の（議論）は、班長会議のものをいちいち取りに来いというので、メールとかファックスのない人についてのことです。
- （熊澤）：班長会議のことでよろしいですね。
- （上林）：発表会用の資料はどうなるのでしょうか。
- （熊澤）：今回の発表用資料については班長会議で決めた方法で、次回に皆さんにお諮りするというので、事前に皆さんにご提供したのですが、本日もご用意しました。
- （芳賀）：ちょっと発言いいのでしょうか。もとは、私だったと思うのですね。つまり当日配布では、その場で資料は読み込めないの事前に配布して下さいと申し上げました。次回の分科会の予定はこういうことですよ、考えてきて下さい、それが会議を円滑に進めるノウハウではないですか。私は班長会に対して、そういう提案をしたのです。そしたら、メールを持っている人にはメールでくれるけれども、メールをやってない大部分は取りに来いというのが班長会の決定です。メールのやっている人というのは、3割もいない、2割か1割しかいない。きっと、中上さんはそうではなくて、ファックスを送って下さい、あるいは郵送を希望する人には郵送をして下さい、そういう提案をしたのに対して、いろいろな意見が出ましたね。だから、郵送を辞退される方は辞退されていいのですよ。班の中でやりますよということであれば、また、辞退するならそうすればいいじゃないですか。目的は何ですか。会を円滑に進めたい。そして実は聞いてみればというか、調べてみれば、事務局から定量的に、郵送が来ているのですよ。だからそういうものも総合的にやってくれればね、何のためにやるのか、事前に資料を頂いて、少しでもその会を効率的に進めたい。僕の提案はそういうことなのですね。たかだかそれだけの話に、もう30分も時間を潰して、もう僕はもったいなくてしょうがない。だから、今言ったように自分で宛名を書きたいとおっしゃるなら、それはそれでいいですよ。班の中でやる、それもいいですよ。メールができるから情報がすぐ来て、ファックスや郵送ではお断りというのは、円滑な会とはいえませんが。だから班長会は、その辺りを事務局と連絡を密にして、何故そうしなければならないのか踏まえて、ちょっと見直して下さい。改めてお願いしたいと思います。以上。
- （上林）：ごもっともだと思います。要はそういうことですので、写真などいろいろな資料がある場合もあるでしょうけれども、その辺りは平等的に考えてやっていきたいと思います。次は発表用の資料の調整ですが、そのことについて、いろいろと検討いたしました。その完成したものが、今日お手元に渡っていることと思います。以上です。次に分科会の進めた方について協議しました。日程を確認して、次の班長会議の2月14日に、

中間報告会に向けての最終リハーサル、ポスターづくりなどをする予定です。以上です。

- （小宮）：今、上林さんから班長会議のご報告をしていただきました、先ほどの話の途中で、情報提供の話がとぎれてしまったようです。皆さんのお手元に、連絡表があると思います。メールで情報交換ができるチームが温暖化班とエコエコ班です。ここは班長さんがメールを送れば届くようになっていますので、用紙を配っておりませんが、それ以外の班には用紙を配っております。その用紙の右端に連絡の手段として、メール・ファックス・郵送・電話と書いてありますが、先ほど申し上げたようにファックスは、人が機械の前に立ってやらなくてはならないとか、私がやったわけではありませんが、相手側に送信できなかつたりとか、いろいろな手間がかかるので、できればファックスではなく、宛名を書いて事務局にお願いして郵送という形にさせていただくということではいかがでしょうか。よろしいですか。では温暖化班とエコエコ班以外の方でメールを希望される方はメールアドレスを記入して下さい。郵送もしくはメールアドレスを書いていただいて、それに沿って班長または事務局から、メールか郵送でご連絡したいと思います。以上でよろしいでしょうか。

それでは時間も限られておりますので、次に進めさせていただきたいと思います。

2.（2）中間発表会に向けた第4分科会での整理（リハーサルを含む）

- （小宮）：今日は中間発表の資料の提出期限です。今日は二つの資料を作り上げなければなりません。前回、中間発表の発表用資料については、この場で説明させていただき、それについて各班からご意見をいただきました。その点を修正いたしましたので、ここでリハーサルさせていただきます。いまから大きな修正は無理ですが、可能な範囲で再度修正していきたいと思います。また、中間発表の発表用資料について感想をいただいたのですが、時間的な問題と、これまでの経緯もありますので、これにつきましては、中間発表会終了後に一緒に考えていきたいと考えております。よろしくをお願いします。
- （神野）：発表用資料につきましては、前回の分科会で敲き台として発表させていただきました。それを元に前回の班長会議で、構成について再度議論をした上で、今回お配りされている資料はできております。まずその点についてご確認いただきたいと思います。実は発表原稿がまだ用意できておりませんので、リハーサルまではいかないと思います。申し訳ないのですが、まず今日は、全体の構成を皆様に確認していただいて、ポイントとしてどういうことを話すべきか確認させていただければよいかと思っております。そのあと来週、原稿を作りながら調整させていただきたいと思います。その前に、資料の全体の構成をもう一回確認させていただきたいと思います。一つはここにパワーポイントとして出すのですが、当日の配布資料としては、発表のパワーポイントと各班で作った資料が入ります。それで、今回パワーポイントとして用意したものは、班ごとに「ハード、ソフト、ハート」ということで統一してまとめたものが一枚、そのあとに提言内容や検討したものをまとめたものが一枚という構成になっております。それでは中身についてご確認いただきたいと思います。

＜中間発表パワーポイント資料説明＞

- （小宮）：ありがとうございました。今日の夕方にはこの資料を提出しなければならないのですが、いかがでしょうか。
- ：環境と美化班の「環境サポーター」の創設ということと、環境教育班の「みどり環境インストラクター」制度の創設とは、全く別と考えるのが良いのでしょうか。それとも共通項があるのでしょうか。
- （中上）：「環境サポーター制度」は私が言い出したのですが、例えば環境は広い意味でして自転車の整理やポイ捨ての禁止、公園サポーターなどが含まれます。そういった制度が縦割りになっているから、一本化したいと思っております。環境という広い意味で、サポーター制度を作ってはどうか、また、継続的にやってもらう以上は最低賃金を払うようにしてはどうか、ということを考えております。
- （神野）：まとめる際に皆さんの資料を見せていただいたのですが、各班の内容の関連性が見えてきました。言葉の表現の中で班ごとにいろいろな言葉が出てきていると思います。それらをまとめたり統一したりしたほうが良いという意見もありました。しかし、今はまだ中間発表の段階であり、なおかつ班ごとに個別に検討していただいたところですので、これからお互いの良いところをとりあつてまとめていって、第4分科会として一つのをまとめていけたらいいと思っております。例えばお金の問題ですと、実際エコエコ班で地域環境通貨という提案が出ており、教育班でもインストラクターという提案も出ておりそういったものを結びつけていこうとか、そういった話も出ています。最終的にはこうしたものを有機的に結びつけて、一つのものとして良いものができるのではないかと感じています。
- （中上）：結構でございます。そのうち、皆さんで相談して調整すればいいと思います。
- （芳賀）：提案したことについては後でという事ですから繰り返しは言いませんが、（パワーポイントの）2ページを出してもらえますか。この図が私たちの活動とつながらないということを再三言ってきました。一番私が引かかるのは「三つの市民とは住民と企業と行政」だと書いてある点です。行政を区民とくくることはできないのではないかと思います。行政が市民でしょうか。私はそう思いません。三つの市民というならば、住んでいる人と、企業と、あと町に来る在外者、この三つならいいのですが、行政を僕らと一緒に区民にくくるのはちょっと乱暴ではないでしょうか。「行政」を「在外者」に直した方がいいのではないのでしょうか。それと、「市民」と「区民」が混合していますが、どのように使い分けているのでしょうか。
- （田中）：今日配っていただいた先般の議事録の7ページ上から6段目、ここに私の発言が表記されているのですが、「新宿区の環境は改善してきた」ではなく、「改善してこなかった」というように私は発言をしました。私の発言が十分聞き取れなかったという点もあるかと思いますが、文章記録となりますとこの「きた」は削っていただき「こなかった」にさせていただきたいと思います。環境以外の点に配慮しているから環境は良くなっていません。環境に関する指標は、神田川とゴミが減っただけで、それ以外は改善されていません。緑も減っています。また、関連してですが、この目的の、「ハード、ソフト、ハートのバランスがとれた環境配慮都市」の部分ですが、ハートは心とか、気持ちとか、意識、そういった言葉です。我々

は、区の行政にかかわる領域の問題で提案しているわけです。区がこれを取り上げた場合に、このハートの中身の問題にかかわって基本構想や基本計画を出さないと思います。もし出したとしたら、区民から意見が出ると思います。区民同士の間で、お互い意識をそうしようという話し合いならいいですが、権限を持った区が心の問題や気持ちの問題にわたって発言をした場合、私は区に意見を言います。その中身が大方の人が正しいと思っても。やはり権限を持つ側がこういう問題に関して取り上げることを、区はしないと思います。私たちが提案しても、というような点を心配しております。もう一つ提案したいことは、5段目に、「地域から地球環境を考える町」というテーマがあるが、少なくとも今回まとめていただいた資料の文章の中で地球環境という概念で問題にしている班はないと思うのですが、どうして地球環境が我々の課題の中に出てきたのでしょうか。

- （神野）：地球環境の話ですが、温暖化班や資源循環班で実際に考えておられると思うので、地球環境という言い方、表現はおかしいとは思わないのですが。
- （田中）：まとめることは大変だとは思いますが、まとめる立場の人は下の意見をまとめるのであって、ご自分の意見で言葉に集約する上では、経過を重視した方がいいと思います。
- （小宮）：「地域から地球環境を考える町」の話は別に温暖化班にお答えいただけると思いますので、三つの市民のお話しに関して、お願いします。
- （神野）：三つの市民ということで全部をひっくめて考えていきましょう、ということで、確か決まったはずですが。一番初めに三つの市民ということで会議自体がスタートしたと考えています。
- （田中）：我々の提案は国や都道府県よりむしろ区の環境行政について、住民、通ってきている方一緒になって、提言したほうが実現しやすいのではないのでしょうか。
- （植木）：いい意見が出たと思うのですが、今回は中間発表に向けて一回区切ったところですので、後に戻る話は一度やめていただいて、中間発表後に皆さんで見直しをされたらどうでしょうか。中間発表については、皆さんの貴重な時間を使ってここまで皆さんで作ってきたのですから。今議論になっているのは既に済んでいる話ですので、これを先に進める話にしていきませんか。
- （板本）：私もそう思います。8月12日の資料に、三つの市民は市民、企業、行政とありまして、そこで決まったはずですが。この時点で皆さん了承したものだと思って進んできているので、ここでもう一度考え直すのであれば、中間発表が終わった後にされたらどうでしょうか。
- （小宮）：それでは先に進めさせていただきます。他にご意見等、よろしいでしょうか。それではこれから、グループワークに入りたいと思います。パワーポイントと各班の資料を作り上げて、データとして事務局にお渡ししなければなりません。もし、データに直すのが不得意な方がおりましたら、遠藤さんにお手伝いいただけるので、こうして欲しいと今今日お伝えいただけますでしょうか。それでは8:30頃をめぐりに最後のご検討をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

(班ごとに議論)

- （小宮）：8：30 を大分過ぎてしまったので、そろそろまとめに入らせていただきたいと思います。遠藤さんが各班を巡回して下さって、各班の配布資料の確認をさせていただきましたけれども、全体のページ数はですね、6班の合計のページが38ページということになります。これに第4分科会としての表紙と各分科会の目次がつきます。それを加えて全部で40ページになるので、調整することなく配布資料にできるということになりました。それからもう一つは、今日の検討結果を含めた資料を事務局に出さなくてはならないのですが、街美化、温暖化、エコエコ、教育は既に渡せますが、その他の班はまだいろいろあるようで、今、個別に対応策を考えておりますので宜しくお願いします。13日の月曜日の朝には、事務局に届かないと印刷が間に合わなくなってしまいますので、ぜひお願いいたします。また、月曜日に提出された場合、事務局で目を通すことができませんので、そのまま冊子になるとお考えいただきたいと思います。それから、お手元に1月31日の資料が配られておりますが、この一番最後の6のところは2月の14日に班長会議が開催されることになっておりますが、ここでいくつか決めなくてはならないことがあります。一点は第4分科会の資料の表紙ですが、6分科会合冊になりますので、ここには新宿区民会議と記載がありますが、それは取れます。第4分科会、緑、リサイクル・・・ということになります。よろしくお祈りいたします。それから、中間発表会当日に各分科会でブースを持ち、そこで活動するわけですが、前にお話いたしました、白板程度の大きさのものが各ブースに用意されます。その展示内容に関しましても、2月14日にその責任者である山田さんを中心に、決めていかななくてはなりません。実はブースには模造紙2枚くらいしか貼れないと思います。各班A3で1枚くらいにまとめると、大きさに丁度いいのですが、少し字が小さすぎるので、その大きさにまとめるのは難しいかと思っております。そのような事についてもご意見をいただければ、班長会議に班長さんがもちこんでいただきたいと思っております。今日は時間も過ぎていますが、少し、班ごとにお話いただければと思っております。よろしくお祈りいたします。最後になりますが、2月19日に神野さんが発表されますが、今度2月14日の班長会議の中で神野さんが最終リハーサルをすることになっておりますが、発表当日に各班がどうしても言ってもらいたいということがありましたら、神野さんに事前にお話をさせていただきたいと思っておりますので、次回の班長会議にお持ち寄り下さい。何かご質問等ありますか。
- ：ブースの展示についてですが、各グループでA3の大きさのものを自由に表現しても良いということですか。
- （小宮）：まだ検討し始めたところで、未定です。
- ：そうですか、次回の班長会議で大体が決まるということなので、ブースも小さいことだし、文字を書き込むというよりもポスター形式のようなもので、各グループが表現しないかぎり、貼っても全然目立たない、意味がないと思っておりますので、そういう形式にしたほうが良いかなと思っております。
- （小宮）：そのことは参考にさせていただき、班長会議で検討させていただきます。他にありますか。
- ：当日の役割分担は、はっきりとしていますか。
- （小宮）：いえ、まだです。それは14日に決めたいと思っております。他にございありますか。よろし

いですが、それでは事務局の方にバトンタッチをいたします。

3、連絡事項

○（熊澤）：それでは事務局のからご連絡いたします。いつものように次回以降の会議日程についてですが、ご注意いただきたいのは、2月24日の会場はこちらではありません。こちらの会場がとれませんで、夏ごろに開催した事がありますが、区役所第2分庁舎1階の細長い教室で行ないます。その会場は不評でして、今とても寒いらしいです。どうぞ暖かい格好で参加いただければと思います。大変申し訳ありませんが、2月24日はよろしく願いいたします。以降は以下のとおりです。

（1）次回以降の会議日程

第17回 2月24日（金）18：30～20：30 区役所第2分庁舎1-⑦会議室

第18回 3月10日（金）18：30～20：30 区役所第1分庁舎7階研修室

第19回 3月25日（土）13：30～15：30 区役所第1分庁舎7階研修室

次回の班長会については、

（2）次回班長会議の日程について

2月14日（火）18：00～21：00 区役所6階 会議室

になっております。その他、各班からの連絡事項あるいは情報提供がありましたらどうぞ。

●（渡邊）：お手元に黄色いチラシがいていると思いますけれども、2月23日の17：00から、高田馬場のリサイクルセンターで。集団回収を考えるという懇談会をいたします。ご都合のつく方、どうぞいらして下さい。

○（熊澤）：ありがとうございました。他に連絡事項などありましたら。よろしいですか。

4、閉会

○（熊澤）：それでは、皆さん、お疲れ様でした。

以上